

～事務局通信～

2021年(令和3年)

9月16日発行

Vol.24

「志摩びとだより」は、前回の発行からこれまでの間にあった出来事を、ピックアップしてお届けいたします。また、会員の皆様からの情報提供も随時募集しておりますので、ご協力いただける方は事務局までご連絡ください。

志摩びとインタビュー

こんにちは！今年度から志摩びとの会を担当している山本です。今年度は新しい試みとして、会員の方にインタビューをしました。

今回は、がん発見を機に流木アートを始められた大石博久さんにインタビューをさせていただきました。突然の依頼でしたが、快諾していただきました。

元ラガーマン
市役所1年目
仕事頑張ります！



担当 やまもと

——流木アートを始めたきっかけを教えてください

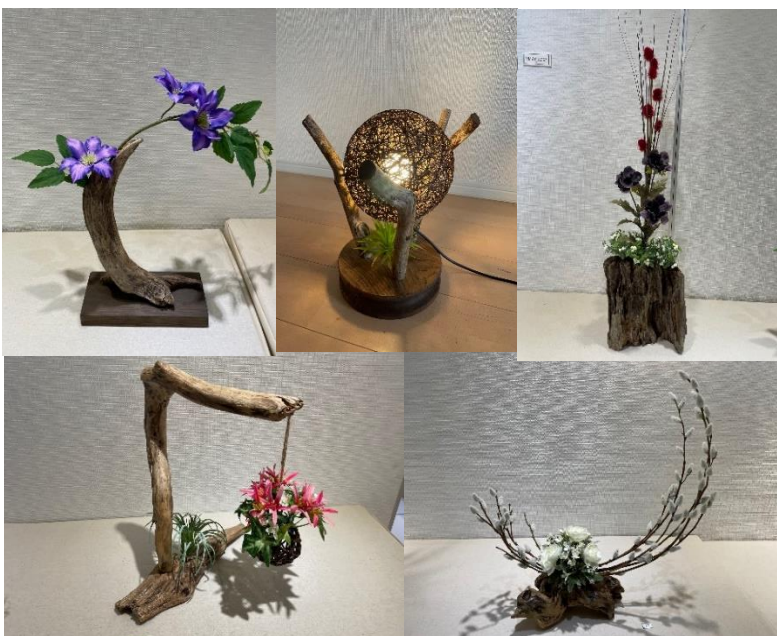
がんが発見されてから地元に戻る機会があり、これからどうするかを近くの海を眺めながら考えていました。その時に波に打ち寄せられる流木を見て、あることに気づきました。流木は大波、雨風にさらされ、弱い所が削り取られ、強い所が残ります。次第に丸みを帯びた形になっていきます。そういったところが自分自身の人生と重なり、そんな流木を使って何かできないかと思い流木アートを始めました。

コロナ禍になり、ステイホーム期間中に流木アートを本格的に始めました。流木アートを作成していくうちに作品も増え、それを見た友人から個展をひらいてみたらどうかと勧めがありました。私にも「流木アートを通して大好きな志摩の魅力を知ってもらいたい」、「私と同じようにがん闘っている方に生きる喜び、勇気をもっていただきたい。」という思いがあり、個展を開く決意をしました。

——個展を開いて反響はありましたか？

コロナで大変な時期にも関わらず、多くの方が個展に足を運んでくれました。その中には、懐かしい友人や高校時代の恩師もいて、来てくれて本当に嬉しかったです。また、中日新聞で個展の開催を紹介されてからは、がん闘っている方やご家族の方々から連絡があり、逆に私が生きる勇気をいただきました。展示した作品についても、来場された方からご好評をいただき、3日で完売することができ、自分でも驚きました。

志摩市のために何かしたいとの思いもあったため、売上金については市へ全額寄付しました。



大石さんの個展展示作品。どの作品も素敵ですね♪

流木アートに情熱をそそぐ

会員 No.48 おおいし ひろひさ
大石 博久さん



【プロフィール】 志摩町片田出身 高等学校卒業(1968)と同時に、渡米。1970年から米国宝石学会(GIA)に学び、1971年に米国宝石学会認定鑑定士(GG)の資格取得帰国後に宝石鑑別機関である(株)日米宝石鑑別センターなどを東京・名古屋・大阪に設立し、宝石鑑別機関のパイオニアとして日本の宝石鑑別業界を牽引。
2019年3月にステージ4のがんが発見される。写真は個展を開催した時のもの

——志摩への想いを聞かせてください

私自身が若い時から志摩市を離れており、アメリカにいて帰りたくても帰れなかった経験があるため、故郷に対する思い入れは非常に強いです。

志摩市の自然や景色は志摩市に住んでいる方にとっては当たり前かもしれませんが、外の方から見れば素敵どころがたくさんあります。



いただいたご寄付にたいして橋爪市長から感謝状が贈られました

素敵どころがいっぱいある志摩市ですが、少子高齢化等の課題があることもお聞きしています。行政には素晴らしい志摩市を残していくような取組をしてほしいです。私も微力ですが、できることは協力したいと思います。

——これからの目標はありますか？

「どれだけ生きるかではなく、どう生きるか」です。限られた命のなかで何ができるかを考え、具体的に3つのやりたいことを決めました。1つ目は様々な表情がある流木を使って何か始めること。2つ目は故郷である志摩市のために何かすること。3つ目は本を執筆することです。

これからは3つ目の目標である本の執筆をしたいと考えています。がんになってしまい、なかなか未来を語る時間はないですが、波乱万丈の人生だったため、過去のことならいくらか話そうと考えることができました。病気のことを考えて悶々と過ごすよりも、これからも目標をもって前向きに生きていきたいです！

皆様からのご意見・情報を募集しています!!

志摩びとの会では本年度から、会員の皆様からの情報発信を募集しています！今回の記事の感想や、「大石さんのようにインタビューされてみたい！」といった意見もお待ちしています。インタビューはオンライン形式でも受付しています。皆様の積極的なご応募をお待ちしております！

詳しくは志摩市総合政策課までご連絡ください。【mail】 shimabito@city.shima.mie.jp

志摩びとの会 大阪交流会開催中止のお知らせ

昨年に引き続き今年の「大阪三重県人会」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催中止となりました。それに伴い、毎年県人会と同時に開催していた「志摩びとの会 大阪交流会」も中止とさせていただきます。

開催を心待ちにされていた皆さまには、ご迷惑をおかけし、申し訳ございません。ご理解のほど、よろしくお願ひいたします。

スポーツでまちおこし♪

志摩市地域おこし協力隊員募集中！

活動内容：スポーツを活用した観光
振興の推進

募集対象：(一社)志摩スポーツコミ
ッションと一緒に活動
内容を実践していただ
ける方

募集締切：令和3年9月30日(木)

報 償 金：165,000 円/月

問 合 せ：志摩市役所 観光課

TEL0599-44-0005

備 考：詳細は、下記 QR コード
からご確認よろしくお願
いします。



**三重県志摩市
地域おこし協力隊**

潮に志摩のスポーツ観光を盛り上げましょう

【人 口】47,969人
【世帯数】22,829世帯 (R3.4.30)

【概 要】
市全域が伊勢志摩国立公園に含まれ、リアス海岸が特徴的で自然豊かな地域です。

【気候風土】
年間を通して様々なスポーツなどが楽しめる温暖な気候です。

募集内容
スポーツリズムの推進に携わる方

活動内容
スポーツを活用した観光振興の推進
(一社)志摩スポーツコミッションが運営する事業への従事等

※詳細は募集要項をご確認ください

Shima City
志摩市観光プロモーション動画
(FEEL THE NATURE)



地域おこし協力隊公式Instagram

志摩市地域おこし協力隊の公式Instagramを開設しました！
協力隊員が活動内容や志摩市の魅力を発信していきます。
皆さんのいいねやフォローお待ちしております♪



新しく地域おこし協力隊が着任しました！ 情報発信で魅力再発見！！



とうげ ひろゆき
峠 広之 さん (30歳)

風光明媚な渡鹿野島で、地域活性化に取り組んでいます。その活動を行うなかで、潮騒が聞こえる浜辺で海の青さを知ったり、夜空の観測会で6等星を見たりして私自身も豊かな自然に魅了されています。そんな感動を皆さんに伝えていきます。

志摩市に来るまでは大阪府の小学校で講師をされていました。10年ほど前から田舎で暮らすことに興味があり、職場での旅行で三重県を訪れた際にもてなす心に触れ、そんな三重県で過ごしてみたいと思ったことがきっかけで志摩市の地域おこし協力隊に応募してくれました。峠さんは現在、島の観光案内や島の景観維持活動をしています。これから島の人と協力して島の魅力発信等を行い、島の活性化に取り組みます。

峠さんもInstagramで情報発信を行っています！
Instagramでは渡鹿野島の情報から日常の風景まで幅広い投稿が楽しめます。ぜひフォローよろしくお願いします♪



～サーフィン移住 Story 志摩～

先輩移住者の動画を作成しました

志摩市では動画を見た人の移住を考えるきっかけになったり、移住を考えている人の後押しになればと思い、移住PR動画を作成しています。
令和2年度からはサーフィン活用推進協議会と共同で、サーフィンを通して移住した人の「移住のきっかけ」や「感想」などをまとめた動画を作成しています。今回は最新の動画を紹介します！

VOL.2 井上皇一さん「Life Styleにあった遊びを楽しむ」



志摩市で飲食店を営む井上さん一家に撮影の協力をお願いしました。井上さん夫妻は20代の頃に、サーフィンが趣味で志摩市に移住しました。動画内では志摩市での子育てや日々の生活などについて話してくれています。その中でも、行動力溢れる移住エピソードは必見です！ぜひご視聴ください。

井上さん一家以外にも移住動画配信中！！



過去の動画はこちら→

志摩市ふるさと応援寄附

～返礼品・ポータルサイトぞくぞく追加中！～



☆担当者おすすめ返礼品をピックアップ！☆

～癒す！「愛でるあこや真珠」～



～ネックレスでもないイヤリングでもない、
ありのままの真珠をお手元に～

【愛でるあこや真珠】に使われている「あこや真珠」は、今から半世紀以上前の昭和40年台に「英虞湾」で養殖され、職人が「自分の誇り」として大切に保管していた珠で、穴もあけず、加工も行っていない、貝から取り出したままの姿です。手のひらで転がし、「あこや真珠」の柔らかな輝きをお楽しみください。

※その他にも魅力的な返礼品を多数ご用意しています。

手続きをもっと便利に！

～「ANAのふるさと納税」「JALふるさと納税」を追加しました～
志摩市ふるさと応援寄附のインターネットでのお申し込みは、下記のサイトから！

